

体験の風を  
おこそう

ポストコロナから  
コロナ時代へ  
生きる  
時代を

# だいじょうぶ?! 子どもたちの 育ちと学び

講師 野井真吾さん 日本体育大学 教授

2024年11月24日(日) 10:00~12:20 9:40受付

山口市市民会館 小ホール 山口市中央2-5-1



すぐ疲れたと言う

朝起きられない 首・肩がこる  
夜眠れない

授業中じっとしてられない

よく頭痛がする

おこりっぽい

病気ではないのに、なんだかようすのおかしな子どもたちが  
増えていませんか？

3年余り続いたコロナ禍の影響は子どもたちの中にまだまだ  
残っています。

ポストコロナを生きる子どもの日常生活を見直し、子ども  
たちが元気になれる具体的な提案を、野井先生からお聞き  
します。

あたらしい合ことば

## 光・暗やみ・外遊びとは?!

参加対象 子ども・子育てに関わるすべての方、50名

申し込み方法 事前申し込み(申込フォーム・電話・メールにて)

※詳細は裏面をご覧ください。

参加費 1,000円、学生500円

託児 ひとりにつき700円、2人目より500円

申し込み開始 10/1(火)10時~

申し込み先 こどもステーション山口 事務局



申込みフォーム

※講演会で団体広報や子ども夢基金への報告のため、写真撮影を行います。  
なお、報告に提出した写真は子ども夢基金助成業務以外の目的には使用しません。

主催 「プレーパークを山口に」実行委員会

後援 山口市・山口市教育委員会

※「プレーパークを山口に」実行委員会は山口市にプレーパークを  
作ることを目指して活動しています。  
実行委員会の母体はこどもステーション山口です。

お問合せ・申込み先

認定NPO法人こどもステーション山口

open 火~金曜日 10:00~17:00

〒753-0047 山口市道場門前 2-4-20

co26station@yahoo.co.jp TEL 083-925-1486



## 野井真吾 (のいしんご) / NOI Shingo, Ph.D.

1968年、東京都生まれ。日本体育大学大学院体育科学研究科博士後期課程修了。博士(体育科学)。東京理科大学・専任講師、埼玉大学・准教授、日本体育大学・准教授を経て現職(日本体育大学・教授、2022年4月より体育学部長、2023年4月より「子どものからだ研究所」所長)。子どものからだと心・連絡会議 議長。教育生理学、学校保健学、発育発達学、体育学を専門領域として、子どもの「からだ」にこだわった研究を行っている。具体的には、子どものからだ、心、生活が「どこかおかしい」、「ちょっと気になる」という保育・教育現場の先生方、あるいは子育て中のお母さん、お父さんの“実感”をたよりに、子どもの“からだ”にこだわって“事実”を明らかにし、その“実体”を追究する研究活動に努めている。主著に、『子どもの“からだと心”クライシス』(かがわ出版)、『新版からだの“おかしさ”を科学する』(かがわ出版)、『子どものからだと心白書』(ブックハウス・エイチディ)、『正しい姿勢で元気な体』(金の星社)、『めざせ!からだはかせ 全4巻』(旬報社)、『からだの元気大作戦!』(芽ばえ社)等がある。

からだ博士とよばれる野井先生だからこそ、科学的な根拠に基づいたお話、そして具体的な提案がすんなりと頭に入ります。

プレーパークのような外遊びがどうしてたいせつなのかも、いまいちどナットク!

大人もまた、ポストコロナをよりよく生きるヒントがもらえそうです。



### お申込みについての詳細

- 電話・メールの方は[お名前、電話番号、市町村名、あれば所属]をお知らせください。託児希望者はお子さんの名前、年齢、アレルギーの有無が必要です。
- 申込みフォーム、メールの方は受付が完了しましたらお返事を差し上げますのでご確認ください。



申込みフォーム



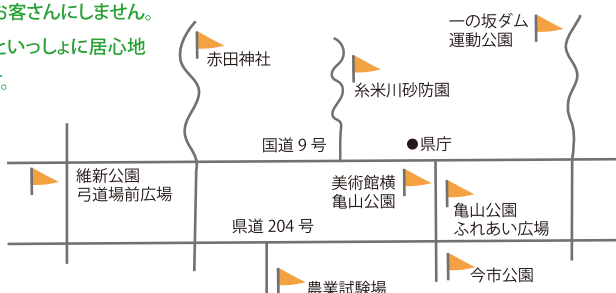
### 「プレーパークを山口に」実行委員会とは

子どもたちが日常的に楽しく外遊びができるよう、山口市に常設のプレーパークをつくることを目指して2019年より活動してきました。

公園や神社の境内などで毎月1回 **いちにちプレーパーク** を開催しています。

プレーパークでは参加者をお客さんにしません。子どももおとなも、スタッフといっしょに居心地のいい場所をつくっています。

いちにちプレーパーク、いままでの開催地はこちら!



ボランティアスタッフを常時募集しています!

### プレーパークってどんなところ?

プレーパークは元々、1943年にデンマークで誕生した子どものための遊び場です。日本では1979年に行政と市民による協働運営で東京世田谷に「羽根木プレーパーク」が誕生しました。その後は草の根的に広がり、現在では全国に450以上の地域でプレーパークの活動がひろがっています。

プレーパークでは、できるだけ**禁止事項をなく**子どもたちが自由に遊べる一方、**自分の責任で自由に遊ぶ**、ということをつたいしています。そのためにそこには**プレーリーダー**と呼ばれる大人がいて、子どもたちの安全を見守りながら、自由に安全に遊べる環境をつくっています。

子どもたちは土を掘りかえしたり、水を流したり、火を起こしたり、道具を使って工作や料理などもしています。高いところに登ったり、飛び降りたり、またおおぜいで走り回ることもできる遊び場です。